

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>
 指定管理者 旭ビル管理株式会社



この時期みられる可憐な花、コスモスです。花言葉は「謙虚」「調和」など日本人にぴったりな花ですが、実は原産国はメキシコで明治のころ日本に入ってきたそうです。

鳥取県中部地震のお見舞いを申し上げます
 10月21日、午後2時7分頃にマグニチュード6.6、震度6弱の激しい揺れが鳥取県中部を震源として発生しました。中部地区のお住まいの方は大変不安な日々をお過ごしのことと思います。当所でも、「第8回伯耆しあわせの郷まつり」の準備の真最中に突然大きな揺れに襲われ、停電も発生し、屋外非難を余儀なくされました。幸い建物に大きな被害は確認されませんでした。余震も心配されることから10月23日に予定していた「伯耆しあわせの郷まつり」は中止とさせていただきます。準備を重ねておられた教室関係の方や楽しみにしておられた市民の皆様には心よりお詫び申し上げます。代替えの日程を取ることが出来ないためやむなく今年度の「伯耆しあわせの郷まつり」中止とさせていただきます。高齢化社会の進む中で、元気な高齢社会を創っていくために、まさに創られたのがこの施設です。今後も当施設を大いにご利用ください。

受講生募集

※申し込みは、11月1日(火)から先着順にて受付、定員になりしだい締め切ります。
 ※各教室とも、受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	回数	定員	受講料
男性のための料理教室 「マカロニグラタン他」 管理栄養士 徳重 安枝さん	11月 9日(水) 10:00~13:00	1回	20名	550円
ちりめん細工教室 「干支作り」 明里 美也子さん	11月26日(土) 13:00~16:00	1回	15名	550円

11月の休館日



11 NOV	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29

12月開講教室 受講生募集

◎11月1日(火)の午前9時～

受付開始、先着順

- 受講料は初回全納です。納入された受講料は原則として返金しません。
- 受講料のほかに、スポーツ保険料(150円)が必要です。
- 教室は一部変更または中止になる場合がありますので、予めご了承ください。

教室名	日 時	期 間	定員	講 師	受講料(回数)
ステップアップ エアロビクス①	毎週水曜日 午前10時15分～11時15分	12月～3月	25名	河本 珠紀さん	8,400円 (15回)
ステップアップ エアロビクス②	毎週水曜日 午後7時～8時	12月～3月	25名	河本 珠紀さん	8,400円 (15回)
ピラティス	毎週金曜日 午後7時～8時	12月～3月	30名	河本 珠紀さん	8,400円 (15回)

※受講料は、保険料を含めた金額です。 ※託児は、ステップアップエアロ①のみお受けできます、ご相談ください。

新教室 介

マクロビオティック教室

月2回 土曜日 10時～13時 開催
講師 桑本聡子さん

マクロビオティックは、無農薬・自然農法の穀物を主食に、お野菜、豆製品、海藻などを主体とする和食を摂るにより、健康な体を作ることを目指した食事法です。

10月1日の教室では、先生がマクロビオティックにより体調を回復された体験を語られ、また陰陽の概論についても講義があり、受講生の皆さんが楽しく学んでおられました。



そば打ち教室

9月30日開催 講師 福井 康夫さん

そば粉に水をまわし、練り、伸ばし、切ってそばの出来上がりです。同じ分量、手順で打ったそばにも、それぞれ特徴があり、自分だけの手打ちそばになりました。参加の皆さんが、大変楽しくそば打ちし、年末に年越しそばを打つ教室を開催しようという事になりました。



ハワイの文化体験教室

9月24日開催 講師 プアナニアロハフラ鳥取

ハワイアンフラ教室で、お世話になっているプアナニ・アロハフラ鳥取の先生方にハワイの文化を体験する教室を開催して頂きました。

今回はパンダナスの葉を使ったブレスレットを作りました。

パンダナスの葉を上手に編み込み素敵なブレスレットが出来上がりました。



第19回仏像教室作品展開催

10月13日～18日 コミュニティプラザ百花堂にて第19回仏像教室作品展が開催されました。受講生の皆さんの力作に、訪れた人も感動されていました。



今年度の

「第8回伯耆しあわせの郷まつり」は地震のため中止させていただきました。

大変ご迷惑をおかけしました。

鳥取県を代表する伝統文化

2016.9.9~10.8

「倉吉絨」展 in ロシア・ハバロフスク開催報告



展覧会が行われたロシア極東国立博物館の外観：ヨーロッパ調の美しい建物



開会式の様子：在ハバロフスク総領事、ハバロフスク地方政府文化局長、ロシア外務省等よりご挨拶いただきました。

倉吉絨展の開催案内ポスター：「ハバロフスクで鳥取県の伝統文化倉吉絨展」と書いてある。

鳥取県国際交流財団の助成を受け、9月9日～10月8日まで、2回目となるロシア極東地方における倉吉絨展覧会を行いました。期間中約4,000人にもものぼる来館者があり、日本文化や日本に対する関心の高さがうかがえました。機織り、着物着付け、折り紙、草木染などの体験教室にも多くのロシア人が参加され大変喜んでいただきました。



左：倉吉絨を着てポーズをとる女性、中央：機織り体験をする小学生、右：草木染作品を披露する女性



10月4日～9日まで、ロシア・ハバロフスクに行ってきました。ハバロフスクの印象

まずハバロフスクについて驚いたのは日本車の多さでした。走っている車ほとんどが日本車で、後から通訳の人に聞くと95%が日本車だとの事、日本語のしゃべれる鳥取県サポーターの一人も日本車に興味を持ち、そこから日本語を勉強する様になったとの事でした。また、信号の少なさにもびっくりしました。日本では当然信号があるような交通量の多い交差点でも信号がなく、横断歩道も道に横断歩道の線はありますが、信号はなく歩行者優先でみんな歩いていました。町並みはきれいに掃除がされていて、ゴミ一つも落ちていません。町並みはヨーロッパ的で大通りの商店も古い建物を利用して、高層ビルはほとんどありませんでした。教会が沢山あり、大学も6つもあり、文化的な町でした。美人・イケメンがめっちゃくちゃ多かったです。



表敬訪問先にて

今回のロシア訪問では、ハバロフスク地方行政政府の手厚いサポートがありました。到着時から帰るまで、すべて行政政府がバスを出していただき、通訳の方も随行して頂きました。

これは行政政府を表敬した時に、リチャードギア似のイケメン次官と会談して感じたのですが、ハバロフスク行政政府は鳥取県との文化的交流を



強く望んでいると感じました。特に子供の交流を実現したいと言っておられました。以前は新潟・ハバロフスク間に直行便があったようですが、現在ではなくなってしまう様で、「日本と交流する機会が減っている今が鳥取県にとってチャンスだな」と感じました。

ハバロフスクとの子供の交流を是非実現してほしいものです。

また、表敬訪問した日本総領事館の総領事も、日本センターのセンター長もロシアでいろいろ赴任したが、ハバロフスクが一番住みやすい街だと言っておられたのが印象的でした。

展示会会場にて

今回の展示会の来場者数は4千人で、3年前のウラジオストクでの展示会の倍の来場者数になりました。美術館に行っていた2日間の間に2組の20人ぐらいの小学生グループの来場があり、いずれのグループも日本文化を熱心に学ぼうとしていました。こうした集客の努力が4千人の来場につながったと思います。

小学生について驚いたのは、来場していた一つの小学校は、弁護士になる為に勉強する小学校との事で、ロシアでは小学校のころから将来の職業のための小学校があることに驚きました。

体験教室も大盛況で順番待ちの状態でした。織物体験のコーナーでは織ったコースターを彼氏との新居で使う事など、打ち解けて個人的なことまで話し下さり、交流を深めました。



鳥取県サポーターについて

日本語のしゃべれる鳥取県サポーターが今回の訪問をサポートしてくれました。彼・彼女らの多くは社会人で(大学の先生などで、働きながら5年程かけて日本語を習得したとの事でした。体験教室でもサポーターのおかげでハバロフスクの人達と深く交流が持てました。体験教室の終わった夜に日本料理店でサポーターの人たちと交流を計りました。持ち込んだ日本酒2本とウオッカ3本で、大いに飲み、楽しく交流を深めました。久しぶりに記憶が飛ぶくらい飲んでしまいました。



最後に

なんとなく遠い国のような気がしていたロシア、行ってみると意外に近いロシア、なんとなくつつきにくい様な気がしていたロシアの人達、会ってみると、とてもあったかい人達。今回の訪問でロシアが好きになりました。

